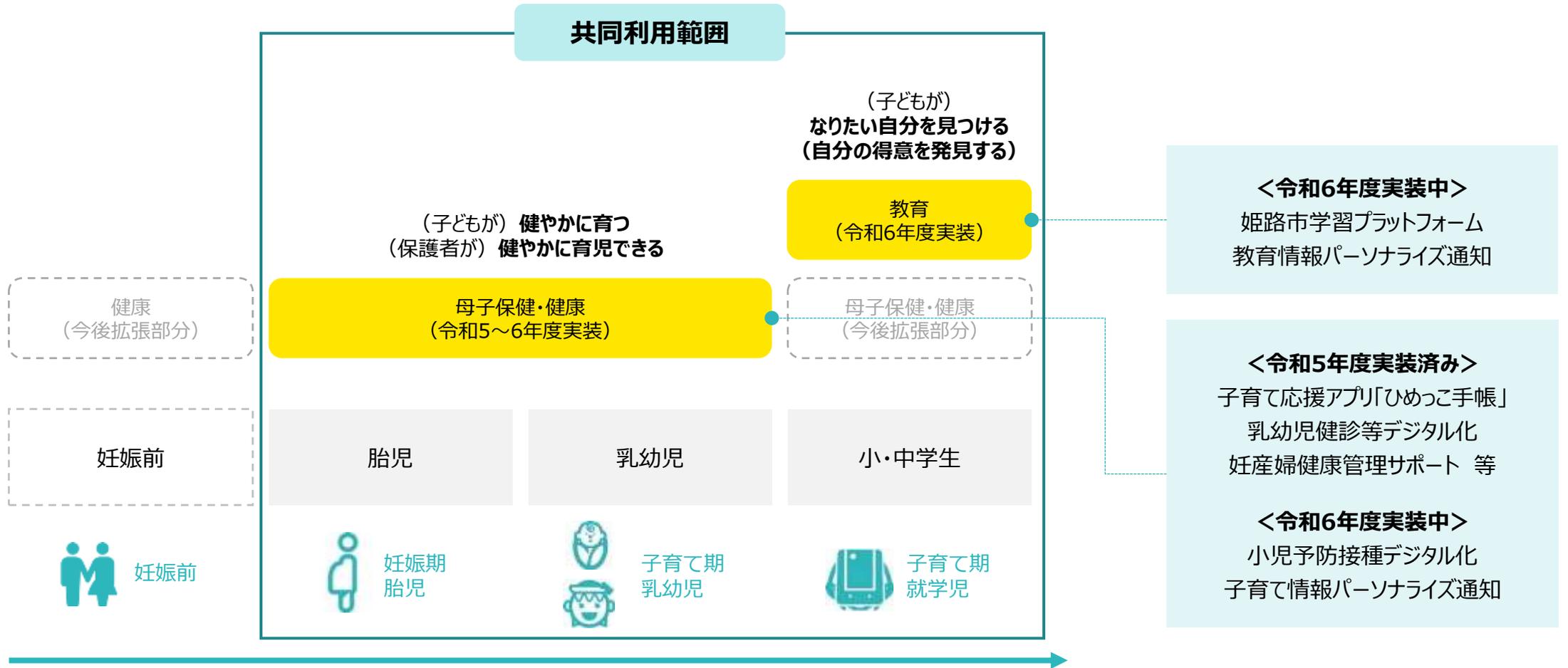


姫路市子育て支援サービスの共同利用

姫路市子育て支援サービスのコンセプト

妊娠期（妊娠前）から子育て期（中学校卒業）にわたる「切れ目のない子育て支援」の実現を目指しています



「安全・安心な子育て」と、「子どもの”ライフデザイン”」をサポート

姫路市子育て支援サービスの提供範囲

マイナンバーカードを基軸とした子育て・教育サービスや、各サービスから取得したデータの集積機能を提供します

利用者



子育て世代の
保護者・妊産婦とその子ども



- デジタル社会のパスポートであるマイナンバーカードをトラストアンカーとして活用
- 各サービスのパーソナルデータをデータ連携基盤「ひめじコネク」に集積
- 世帯に応じて個別最適された子育て・教育情報配信（パーソナライズ通知）を提供予定

サービス

子育て

子育て応援アプリ
「ひめっこ手帳」

乳幼児健診等デジタル化
問診票入力から結果確認までをアプリで

マイナポータル連携
予防接種歴の確認をアプリで

小児予防接種デジタル化
予診票の入力・提出をアプリで

教育

学習プラットフォーム
(Webサイト)

メタバース型ポータルサイト
学びのテーマパーク

子ども向け学習コンテンツ
家庭などで個別最適な学びを

子育て・教育

デジタルID・電子通知アプリ
「xID」

電子通知 (SmartPOST)
本人へ確実にお知らせ

子育て情報パーソナライズ通知
個々に合った子育て情報をお届け

教育情報パーソナライズ通知
個々に合った教育情報をお届け

子育て

妊産婦健康管理サポートアプリ
「バイタルゲイン」

バイタルデータ可視化
ウェアラブル機器等からのデータを集約

健康アラート通知
データから健康上のリスクをお知らせ

データ
連携
基盤

こどもID管理システム (令和6年度実装中)

ひめじコネク (パーソナルデータ)

令和5年度実装
令和6年度実装中

代表的なサービス①

子育て応援アプリ「ひめっこ手帳」を活用した乳幼児健診・小児予防接種のデジタル化を実現します

アプリへ子どもの日々の成長を記録できる



アプリを使って、紙の受け渡しがなく
スマートな乳幼児健診を実現



アプリで問診票を
記入・提出

アプリで結果を
確認



市のデータベースと連携し、
アプリで予防接種の履歴を確認できる



マイナンバーカード
読取

予防接種履歴
確認

R6年度中には、予診票も
アプリで記入・提出できるように

代表的なサービス②

学習プラットフォームを通じて、児童生徒の学力や興味に応じた個別最適な学習環境の提供を目指しています

市内の小中学生をターゲットとした
メタバース型の学習プラットフォームを構築



※構築中のため、画像はイメージです

プラットフォーム上で、
学力や興味に応じたコンテンツを提供

家庭学習の充実
教育機会の均等化

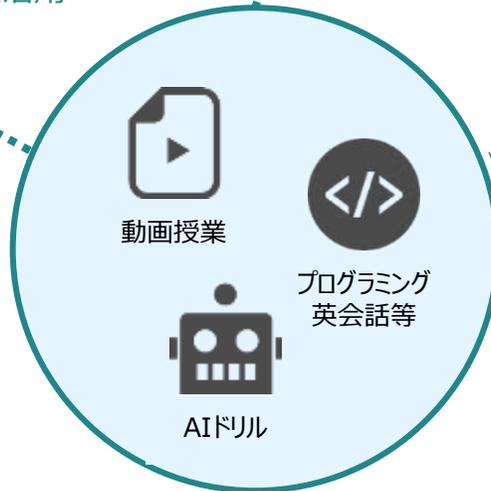


家庭



保護者

学校で配布されている
タブレット端末を活用



「生き抜く力」を身につけるための
“学びを楽しくする”コンテンツを設置
(※上記コンテンツは一例)

プラットフォームを活用し、
地域の公民館を“第3の学びの場”に

学習のサポート
子どもの居場所づくり



公民館



学習
サポーター



※事業イメージ

共同利用のメリット

デジタル技術を活用した子育て支援サービスやデータ流通の仕組みをあなたの市町でも導入できます

全市町共通の課題「子育て支援」

どの市町でも、人口減少・少子高齢化に対し、地方創生のエンジンとなり得る子育て世代へのアプローチが急務

デジタルを活用した子育て支援サービスをあなたの市町でも

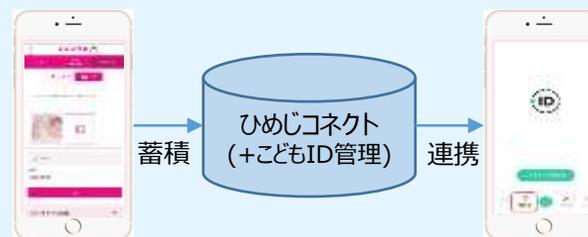
- 母子保健・健康分野のデジタルサービスを導入することで、地域内の子育て世代に「安心」を届けられる
- 将来的に地域内で活躍する人材を育成するための下地として、質の高い教育サービスを提供できる
- これらがパッケージ化されていることで、妊娠期から子どもの義務教育期までの手当てが切れ目なく行える

安全なパーソナルデータ流通の仕組みを現実的なコストで

行政がもつデータや民間がもつ公共性の高いデータを活用し、より付加価値の高いサービスを提供するためには、高コストな「データ連携基盤」の導入が必須

データ連携基盤「ひめじコネクト」及びデジタルID（xID/こどもID）を共同利用することで、セキュアなパーソナルデータの流通基盤が現実的なコストで導入できる

姫路市でのデータ連携事例：パーソナライズ通知



ひめっこ手帳の情報（健診・予防接種情報など）を属性として、xIDアプリでパーソナライズされた電子通知を送付（R6実装予定）

共同利用に向けて

子ども・子育て世代の「心ゆたかな暮らし」を叶えられる兵庫県をめざして

- 本市が取り組んでいる事業は、**将来的に市域に定住し、地域に根差していきいきと暮らす「未来の市民」を、幼少期（あるいはもっと前の段階から）育てる、地道な地方創生の取組**であると捉えています。
- そのためには、まだまだ不足するピースがあり、**同様の課題をもつ市町と共創して、多様な住民や職員の声を聴きながら、サービスの改善・拡充を図ることも重要**と考えます。



共同利用や横展開を通じて、「子ども・子育て世代のWell-being実現」という難題の解決と一緒に取り組んでいただける仲間を募っています。
課題解決に向けた議論に参加いただくことで、より良い住民サービスの提供が実現できます。

デジタルを活用して、「子ども・子育て世代の『心ゆたかな暮らし』が、各地域であたりまえに叶う兵庫県」をともに作りませんか？
ぜひともご検討をお願いいたします！